

特定テーマ③

交流や賑わいが広がる庁舎

町民が気軽に利用できるスペースや、各種情報を発信する手段を確保し、明るく賑わいのある庁舎

奈井江の人と人、人とまちがつながる庁舎

■気軽に立ち寄れる町民の居場所

通りからよく見える身近な存在

- 町民の日常に寄り添う身近な存在として、人や車の往来が多いバス通りに顔を出すように庁舎を配置します。
- 1階は開放的な外観とし、通りから建物内部の活動がよく見える、親しみを感じる庁舎とします。

歩行者にも車利用者にもやさしいアプローチ

- 歩道から直接入れる安全な歩行者アプローチ、庇下の車寄せと思いやり駐車場を配置し、徒歩・バス・車・車いす・ベビーカー利用など、すべての来庁者をやさしく迎えるゆとりある外部空間をつくります。

庁舎とまちをつなぐ「ないえひろば」

- バス通りからの歩行者用アプローチに、まちと庁舎をつなぐ玄関となる「ないえひろば」をつくります。
- 庁舎と「ないえひろば」は一体となり、町民や観光客の日常的な憩いや交流の場となります。



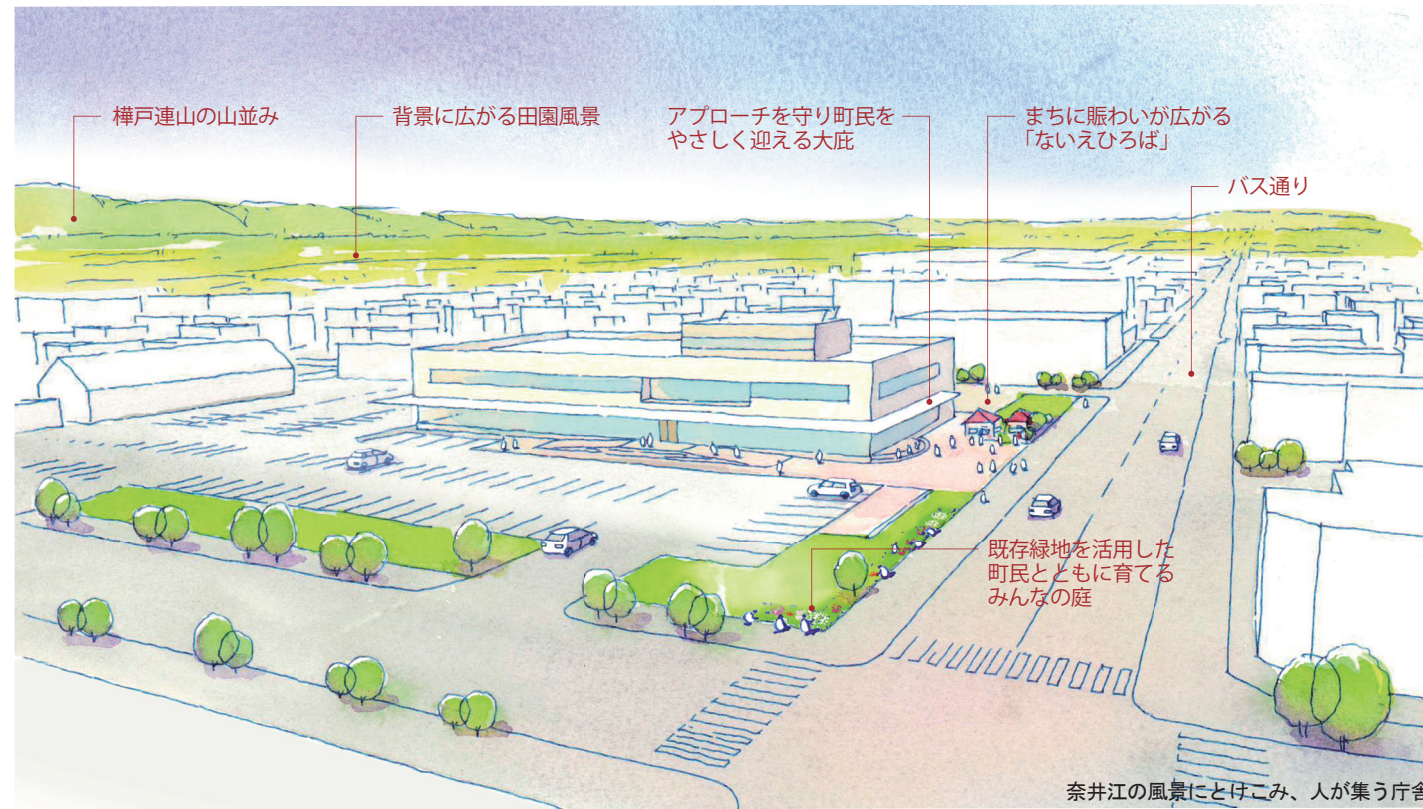
■まちに賑わいが広がる「ないえひろば」

みんなのたまり場

- 道路沿いに緑の遊歩道やベンチ、大庇の下には階段状のウッドデッキ等を設け、町民が集まる居場所をつくります。
- 来庁者だけでなく、通りがかりに休憩したり、バスを待ったり、立ち話をしたり、まちの小さな公園のような日常的な憩いの場として町民の暮らしに溶け込みます。
- ひろばや緑地には、みんなで育てる花壇など住民参加型のしかけを用意し、町民活動が見える舞台となります。

多様な地域イベントを開催

- 朝市マルシェやお祭りなど役場共催イベントや、保健センターの健康づくり教室、子育て支援センターの屋内外を一体に使った親子の遊びイベントなど、庁舎前の立地を活かした、多様なイベントを開催できます。



■町民活動がまちの魅力を発信する

人と出会うまちを知る「町民プラザ」

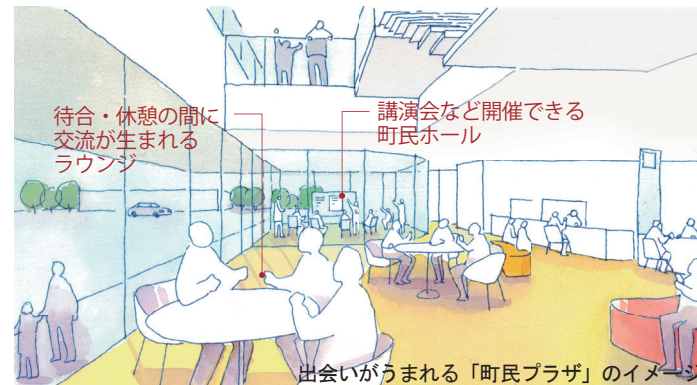
- 町民ホールやラウンジは、公開講演会やサークル活動展示などを開催でき、手続きの帰りに立ち寄るなど、新たな出会いや発見が生まれる場所となります。

魅力的な情報発信

- 正面玄関横の情報プラザでは、デジタルサイネージや実物展示などを活用し、イベント・町政・議会・観光情報など奈井江に関する様々な情報を発信します。

町政への参加を促すしかけ

- 情報プラザに加え、2階議会ラウンジに議会中継モニターを設置、議場で町政イベントを開催するなど町政やまちづくりを身近に感じられる場とします。



■健康づくりと子育てを核としたコミュニティ

子どもの活気がまちに広がる

- 庁舎前面の1階南東側に子育て交流活動室やプレイルームを配置し、通りから子どもたちの姿が一番目に飛び込む、子育て支援が充実する奈井江町らしい庁舎とします。

多様な世代が出会う場所

- 保健センターと子育て支援センターの諸室を隣接させ、窓口や共用部を一体化することで、運動・健康教室などに通う高齢者世代と、子育て世代のふれあいが生まれます。

新たな交流が生まれる場づくり

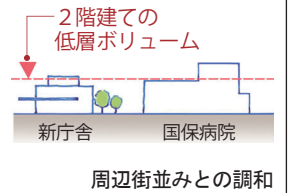
- 栄養指導や料理教室のできる調理コーナーや、子育て中の親同士が交流できるカフェなど、より多彩な活用を促す仕組みを町民のみならずと一緒検討していきます。



■奈井江らしい広がりのある風景を創出

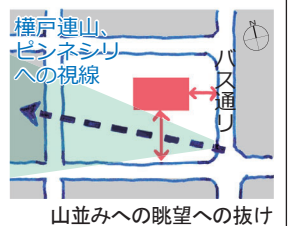
奈井江の街並みに溶け込む建物ボリューム

- 新庁舎は、敷地の東側と南側を走る通りの交差点に対してゆったりとセットバックした圧迫感のない構えとします。
- 水平に広がる低層の街並みに馴染む2階建てとし、町立国民健康保険病院と並んで街区に寄り添う佇まいが、奈井江町の充実した福祉を象徴する風景をつくります。



山並みと田園風景につながる佇まい

- バス通り側に庁舎の短辺を向け、敷地南側にオープンな駐車場空間を配置することで、まちの西側に広がる樺戸連山・ピンネシリへの視界が開け、庁舎と風景が一体化する計画とします。
- 敷地南東側の既存緑地を活用し、状態の良い既存樹の保存や、維持管理が容易な自生在来種の植栽を検討し、緑が広がる風景を創ります。



■奈井江の風土を感じる外観デザイン

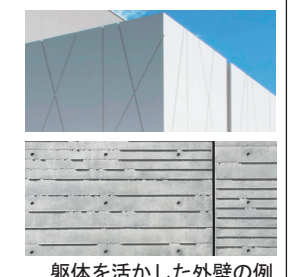
豊かな自然と農業とともにある奈井江らしいデザイン

- 山並みや広々とした田園風景に呼応するような、水平ラインを基調としたのびやかでシンプルなデザインとします。
- まちに広がる田園風景や稲穂のイメージを抽象化してデザインモチーフとし、農業のまち奈井江を象徴する庁舎とします。



経済的で耐久性の高い素材を採用

- 地元で製造される材料や汎用建材を積極的に採用します。
- コンクリート構造躯体を活かした外装仕上など、シンプルで耐久性の高い工法を検討し、経済性に配慮した外装を計画します。



■健康的で心地よい自然素材を使ったインテリア

内装の木質化

- 壁や床などの内装仕上や家具などに近隣地域や道産の木材を活用した温かみのあるインテリアとし、愛着が生まれる庁舎をつくります。

